

平成15年度 水稻関係生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成15年度水稻関係生育調節剤試験成績検討会は、平成15年12月10日、植調会館会議室（東京都台東区）において開催された。

本年は、健苗育成等を目的としたもの4剤（作用性1剤3点、適用性3剤7点）、倒伏軽減を目的としたもの6剤（適用性のべ17点）について試験成績の報告および検討が行われた。

薬剤別の判定結果は、次表の通りである。

平成15年度 水稻関係生育調節剤試験供試薬剤および判定・使用基準一覧

〈健苗育成等〉

No.	薬 剤 名 有効成分及び含有率 〔委託会社名〕	試験目的	判定	実用化に対する 処理方法	継続の内容
1	NGR-303 粒 イソプロチオラン:12% 〔日農〕	〔作用性〕 直播水稻の苗立ち向上および初期生育促進効果の確認	—		
2	SF-0303 粉 未公開(既知A):1% 未公開(既知B):4% 〔三共〕	〔適用性〕 根の生育促進、移植時の発根および活着促進、ムレ苗防止	継		・効果・薬害の確認 (成分未公開) ・ムレ苗発生条件での検討
3	SF-0304 液 ヒドロキシイソキサゾール:10% 〔三共〕	〔適用性〕 根の生育促進、移植時の発根および活着促進、ムレ苗防止	継		・効果・薬害の確認 ・ムレ苗発生条件での検討
4	SF-0305 粉 ヒドロキシイソキサゾール:4% 〔三共〕	〔適用性〕 根の生育促進、移植時の発根および活着促進、ムレ苗防止	継		・効果・薬害の確認 ・ムレ苗発生条件での検討

〈倒伏軽減〉

No.	薬 剤 名 有効成分及び含有率 〔委託会社名〕	試験目的	判定	実用化に対する 処理方法	継続の内容
1	SSDF-20 粒 ウニコナゾールP:0.003% (N-P-K:20-16-8) 〔住友化学〕	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起後～代掻き前 30～40kg/10a	・年次変動の確認
2	SSDF-20S 粒 ウニコナゾールP:0.002% (N-P-K:20-11-11) 〔住友化学〕	〔適用性〕全面施用・土壌混和 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起後～代掻き前 30～40kg/10a	・年次変動の確認
3		〔適用性〕側条施用 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	継		・年次変動の確認

〈倒伏軽減〉 つづき

No.	薬 剤 名 有効成分及び含有率 〔委託会社名〕	試験目的	判定	実用化に対する 処理方法	継続の内容
4	SSDF-21 粒 ウニコナゾールP:0.004% (N-P-K:21-11-10) 〔住友化学〕	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および葉害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起後～代掻き前 30～40kg/10a	・年次変動の確認
5	SSDF-25 粒 ウニコナゾールP:0.004% (N-P-K:25-10-8) 〔住友化学〕	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および葉害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起後～代掻き前 30～40kg/10a	・年次変動の確認
6	SSDF-27 粒 ウニコナゾールP:0.004% (N-P-K:27-10-7) 〔住友化学〕	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および葉害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起後～代掻き前 30～40kg/10a	・年次変動の確認



植調協会だより

◎ 人事異動

平成15年12月31日付

退職 九州支部長

石田 良晴

平成16年1月1日付

委嘱 九州支部長
(兼福岡試験地主任)

平川 孝行

任 石川試験地 主任

中谷 治夫

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03)3832-4188 (代)
FAX (03)3833-1807

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小林 仁
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 (03)3833-1821 (代)
FAX (03)3833-1665
E-mail: hon@zennokyo.co.jp

平成16年1月発行 定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第37巻第10号

(送料 270円)

印刷所 新成印刷(有)